

# 平塚協会報

発行所 公益社団法人 神奈川労働安全衛生協会 平塚支部 発行責任者 五十嵐 富士夫

## 全国安全週間を迎えて

平塚労働基準監督署長 太田 真人

今年も7月1日から7日まで全国安全週間が実施されます。本週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な理念のもと、一度も中断することなく続けられており、今年で88回目を迎えます。

今年度のスローガンは、

### 「危険見つけてみんなで改善 意識高めて安全職場」

です。

国内経済が好転し雇用情勢が改善する一方、人手不足が顕在化し、企業の安全管理体制が懸念されています。例えば、入社して間もない経験の浅い労働者は職場に潜む危険要因に気づきにくいと、事故に遭遇する危険が高まります。

また、経験豊かな安全担当者の退職や熟練した人材の不足等による企業における安全体制の弱体化も、しばらく前から言われてきたところです。

そこで、安全な職場環境を維持していくためには、同じ職場で働く労働者全員で危険要因をいち早く見つけ出し、災害の発生を未然に防ぐことがますます重要になってきています。

また、このような対策が進み、労働者全員で働きやすい職場環境の実現を目指すことで、安全意識の向上はもちろん、設備面のみならず作業方法や労務管理に関しても、改善を提案しやすい職場風土が醸成される効果が期待されます。

このような背景を踏まえて、今年度のスローガンが決定しました。

働く人がその能力や技能を最大限発揮するには、安全に安心して働ける職場であることが大前提であり、これが企業活動の源泉であることは言うまでもありません。

各事業場の皆様におかれましては、本週間を契機として、労働災害防止の重要性に対する認識をさらに深め、安全管理活動の着実な実施をあらためてお願いいたします。

さて、平成26年の神奈川県内における労働災害の発生状況は、全産業における死亡者数は32人、休業4日以上

害による死傷者数は6,639人でした。

死亡災害は過去最も少なかった平成25年からさらに12人減少し、統計を取り始めてから最少となりましたが、死傷者数は154人(2.4%)増加しました。

業種別では製造業や建設業で多く発生しており、死亡災害についても建設業で12人、製造業で8人の方が亡くなっています。

また、産業構造の変化により、商業、陸上貨物運送業、社会福祉施設、飲食店等の業種で死傷者数が増加又は横ばい傾向にあります。

事故の型別で見ると、死亡災害では「墜落・転落」、「はさまれ・巻き込まれ」で半数を占め、死傷災害では「転倒」、「墜落・転落」、「動作の反動・無理な動作」で5割を超える状況となっています。

一方、平塚労働基準監督署管内では、死亡者数は2人、休業4日以上

の災害による死傷者数は433人となり、いずれも平成25年に比べて増加しました。特に死亡災害については、当署管内の基幹的産業である製造業で発生したことに加えて、リスクアセスメントが的確に実施されていたならば事前に適切な防止対策を講じることができたのでは、と考えさせられたという意味においても残念な災害でした。

今年度は第12次労働災害防止推進計画(平成25年度～平成29年度)の中間年です。当署ではいままでの取組を振り返り、その結果を計画後半の取組に反映した災害防止のための各種施策を進めてまいります。

また、全産業の事業場に対し、多発している「転倒」、「墜落・転落」災害の防止を図るため、「STOP! 転倒プロジェクト神奈川 2015」に基づく種々の働きかけや、12月1日から施行されるストレスチェック制度ほか改正安全衛生法の広報・周知を実施してまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜うようお願いいたします。

最後になりましたが、各事業場の皆様のますますのご発展と災害ゼロを祈念申し上げます。

平成27年度 全国安全週間スローガン

危険見つけてみんなで改善 意識高めて安全職場

### 全国安全週間 平塚地区促進大会

「危険見つけてみんなで改善 意識高めて安全職場」のスローガンのもと、去る6月5日(金)平塚市中央公民館大ホールにおいて、「平成27年度第88回全国安全週間平塚地区促進大会」が開催されました。

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で88回を迎えます。

大会は、建設業労働災害協会神奈川支部平塚分会 川之辺分会長による開会のご挨拶から始まり、次に、平塚労働基準監督署太田署長によるご挨拶と平塚市落合市長による来賓挨拶へと続き、引き続き、平塚労働基準監督署田代安全衛生課長により、全国安全週間実施要綱の説明をいただきました。

休憩をはさみ、特別講演として、『労働安全コンサルタントが見たウルグアイ』～徹底した安全教育が利益を生む～を題として、沼野労働安全コンサルタント事務所 沼野様より講演をいただきました。



ウルグアイでの体験記をもとにお話があり、安全管理と品質管理は本質的に一体であり、労災の原因と不良発生の原因は共通で、「やってはならないことをしている」「やらなければならないことをしていない」ことによるものですが、安全教育と安全管理を徹底することにより、「不安全行動ゼロ・ルール無視ゼロ」から「労災ゼロ・作業ミスゼロ・不良ゼロ」となり、結果、「安全は利益を生む」ことに繋がることを学ぶことが出来ました。

最後に、建設業労働災害協会神奈川支部平塚分会 武井副分会長より閉会のご挨拶があり、本大会を終了いたしました。  
(株)ショーワ精工 青木 記

### 『熱中症予防対策基礎講座』開催される

～正しい知識と対応で防ごう熱中症～

6月3日(水)当支部教室に於いて、熱中症予防基礎講座が20名の参加のもと開催されました。

本講座は熱中症予防を基礎から学び発症を防ぐことを目的に開催されています。

カリキュラムは今年更に進化させ、講義1部と2部の間に熱中症防止用保護具の実演コーナーが新設されました。1部担当：熱中症予防指導員 阿部秀昭氏(大塚製薬)、保護具担当：井上大輔氏(ミドリ安全湘南)、2部担当：労働衛生コンサルタント 矢崎ますみ氏(Y/カノン)を迎えての講義であった。



講義では具体的

な質問も行われるなど、真剣に受講する姿が印象的でした。

熱中症による職場での死亡災害発生件数をみると平成26年12名が亡くなられています。

その内訳では、11名がWBGT値の測定を行っていなかった。10名が計画的な熱への順化期間が設定されていなかった等、予防の基礎に不備があり、尊い命が失われた点が特徴です。

受講し痛感することは、熱中症は死に至る可能性のある病態であることから、正しい予防法を知っていれば防ごうことができる、応急処置を知っていれば救命できる、という事です。

皆様、本講座をできるだけ多くの方が受講されて、一人ひとりが熱中症予防を心掛け、発症者ゼロを達成させましょう。  
(株)コベルコマテリアル銅管 五十嵐 記



### ウォーキングの効果は、priceless ?!

(株)コベルコマテリアル銅管 総務室 西崎素子

秦野工場では、2008年より年2回、総務室主催のウォーキングイベントを開催しています。

これまで、開成、鎌倉、真鶴、箱根、大磯、横須賀、三島他を歩きました。

12回目となる湯河原は、過去最高の65名が参加。直前まで梅雨前線に翻弄されましたが、スタートと同時に小降りになり、職種・年代を超えた交流を楽しみながら、8.5Kmを歩きました。訪問地での昼食は、新鮮な魚を前に、消費カロリーをあっさりと超え、また併設の足湯は、大人も子供もごった煮に…。会社では見

られない表情に、ウォーキングの効果は、目には見えない(数値で表せない)ところにある、と実感します。

(5月16日(土) 湯河原福泉寺 首大仏前)

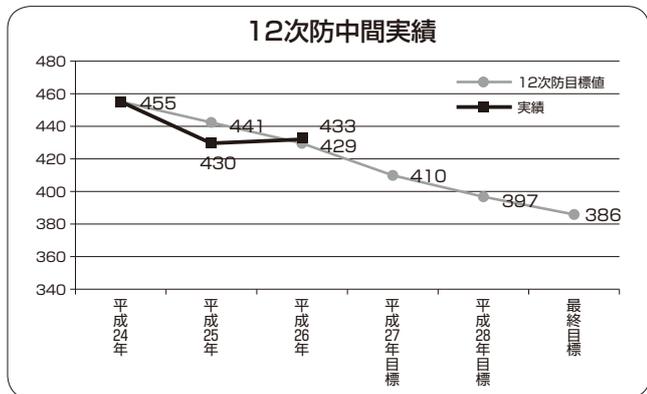


## 第12次労働災害防止推進計画の 中間実績について

安全衛生課

神奈川県労働局及び平塚労働基準監督署では、平成25年度を初年度とし平成29年度を目標年度とする「第12次労働災害防止推進計画」(以下「12次防」という。)を策定し、これに基づく各種労働災害防止対策に取り組んでいます。

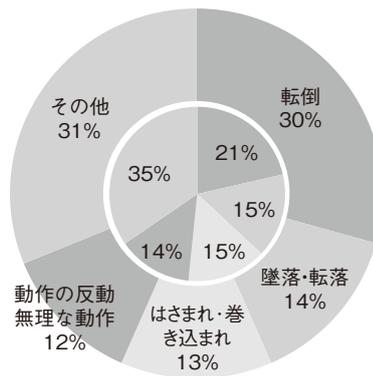
2年目の平成26年における平塚労働基準監督署管内の休業4日以上の労働災害状況は以下のとおりでした。



平成26年の休業4日以上の労働災害発生件数は433件で、前年より3件(0.8%)増加し、目標値である429件以下まで減少させることはできませんでした。

平成26年の労働災害を事故の型別に見ると、転倒災害が全体の30%と最も多く、平成25年の21%と比べて9ポイント増加しました。労働力人口の一層の高齢化が進む中、高齢労働者が転倒した場合には休業日数が長くなる傾向が見られ、転倒災害防止対策の徹底が求められています。このため神奈川県労働局及び平塚労働基準監督署では、「STOP! 転倒災害プロジェクト神奈川 2015」を提唱し、年間を通じて「転倒災害」の大幅な減少を目指した取組を推進していきます。厚生労働省のホームページ「STOP! 転倒災害プロジェクト 2015」では、転倒災害防止対策に役立つ情報を提供していますのでぜひご活用ください。

事故の型別災害発生状況 (外: 26、内: 25年)



## 高度専門職・継続雇用の高齢者に関する 無期転換ルールの特例について

監督課

有期労働契約の濫用的な利用を抑制し、労働者の雇用の安定を図るため、平成25年4月の労働契約法改正により、「無期転換ルール」が導入されました。

このルールは、同一使用者との有期労働契約が「5年」を超えて繰り返し更新された場合に、労働者の申込みにより、無期労働契約に転換するというものです。

今般、専門的知識等を有する有期雇用労働者等の能力の維持向上及び活用を通じ、その能力の有効な発揮と活力ある社会の実現を目指す観点から、「無期転換ルール」の特例として、「専門的知識等を有する有期雇用労働者等に関する特別措置法」(以下「有期雇用特別措置法」といいます。)が平成26年11月28日に公布され、本年4月1日から施行されました。

この有期雇用特別措置法により、

- (1) 専門的知識等を有する有期雇用労働者
- (2) 定年に達した後引き続き雇用される有期雇用労働者について、都道府県労働局長に「適切な雇用管理に関する

計画」を提出し、認定を受けた事業主は、有期労働契約が「5年」を超えた期間について「無期転換ルール」の特例が適用されることとなります。

詳しくは厚生労働省のホームページ「高度専門職・継続雇用に関する無期転換ルール」でご案内しています。

## 平成27年度の年度更新申告書の受付が始まりました。 ～手続きはお早めをお願いします。～

労災課

- 申告・納付は7月10日(金)までをお願いします。
- 提出は管轄の労働局・労働基準監督署・金融機関・郵便局へ
- 提出頂いた申告書等の内容について、委託事業者「(株)日比谷情報サービス」から問い合わせをさせていただきます。
- 申告書の記載方法などのお尋ねはコールセンターにお問い合わせください。  
(電話番号) ☎ フリーダイヤル 0120-949-732  
受付時間 7月17日(金)までの月～金曜日 9時から17時まで
- 電子申請をぜひご利用ください。(事前準備が必要になります。)

## 労働災害発生状況 (労働者死傷病報告件数)

(平成27年5月末現在)

		製造業	建設業	運輸業	陸上・港湾貨物 運送・取扱業	その他	計
平 塚 労働基準 監督署	平成27年1月～5月 うち死亡災害	24 0	21 0	7 0	12 0	67 0	131 0
	平成26年 うち死亡災害	101 2	63 0	19 0	39 0	211 0	433 2
	平成25年 うち死亡災害	82 0	49 1	24 0	57 0	218 0	430 1
神 奈 川 労働局	平成27年1月～5月 うち死亡災害	292 0	233 5	122 0	269 1	976 8	1892 14
	平成26年 うち死亡災害	1076 8	857 12	353 0	892 3	3461 9	6639 32
	平成25年 うち死亡災害	1035 5	871 13	350 2	835 4	3394 20	6485 44



# 雑感

## 『協会報執筆の思い出』

横浜ゴム(株) 平塚製造所 指出 和男

労安協の支部活動に関り始めた平成17年からもう10年が経とうとしていて、思い起こすと感慨ひとしおである。

この間、平成19年と23年に本欄に寄稿し、今回が3度目だが、突然だったので何を書こうか暫し悩んでしまった。

過去にどんな事を書いたのだろうと黄色く煤けた原稿を探し出した。(ちゃんと取ってあるんですよ)

平成19年は「MNビルとの付き合い」というタイトルで当時、労安協の理事会や講習会を行ってきた駅前ビル11Fにあったスカイプラザが閉鎖されるというので、この頃の労安協の思い出やビルにあるフィットネスクラブに夫婦で通いエアロビを楽しんでいる事などを書かせてもらった。

講習会や会場場所はその後、勤労会館、支部教室に変わったが、会場作りや片付けで部会メンバーとしょっちゅう会って色々話した事、遠くから準備に来る方のほやきを聞かされた事など楽しく思い出される。

又、フィットネスには今でも通っていてもう27年になる。メタボ体型のままだが、最近ではステップエアロ、ヒップホップダンスなど新しいプログラムに挑戦し、仲間の足をひっぱりながらも楽しい時を過ごしている。何事も楽しみながら継続する事は力だと思ふ。

平成23年は「平塚支部の絆」として、労安協の活動を通じて数多くの方と巡合い、色々な相談にのってもらい事業所の安全衛生活動に繋がった事、こうした利害関係を越えた「絆・繋がり」を大事にしたいと書いた。

今では諸先輩も代替りが進み、支部では古株の一人になってしまった。過去お世話になった事を忘れず、今度は皆さんのお役に立ちたいと考え行動しているが、空回りや時には苦言となる事もあり、支部の皆さんに嫌な思いをさせたりと反省しきりである。残り僅かな時間ですが皆さんの為に何が出来るかを考えていくつもりです。

### 支部講師紹介 川瀬 泰弘 氏



長時間の授業でも最後まで疲れた顔も見せずに「受講生と向き合う授業」で定評がある。

人間味あふれた性格で、ボランティア精神に溢れ、地域にも元気を振りまいている素晴らしい講師である。

出身地

神奈川県逗子市

担当する講習会

平塚支部ではクレーン特別教育の講師を担当、その他の団体では、クレーン、移動式クレーン、玉掛等の技能講習で学科と実技講師の他、個人としても災害発生後の企業からは、座学、実技による安全教育の要請にも対応する。

休日はなにをされていますか

月2回のゴルフ、月2回の温泉地の休養。自治会では「見守り隊長」やお年寄りのサポーターなどを行っている。

## 編集後記

日、一日と気候も良くなり各地でいろいろな花の便りを聞く様になりました。

6月には紫陽花、花菖蒲、金糸梅、釣鐘草等、多くの花が咲き、見る人の目を和ませます。

今年はいろいろな節目の年として新聞やテレビ等で報じられています。多くの犠牲を払った大戦から70年、災害では阪神・淡路大震災から20年、また高野山開創1200年などがあります。一方、長野県の善光寺では7年に一度の御開帳が催され、多くの参詣客がいろいろな想いをこめて足

を運んでいます。 本堂は創建以来十数回もの火災にあった経緯があり、都度人々の手により再建されてきており国宝に指定されています。 一生に一度は善光寺参りと言われるほど多くの方が訪れ、寺には毎年全国から700万人もの参詣があると言いますからその人の多さに圧倒されます。 近年、交通の便も良くなり更に参詣に行かれる人が増えるのではないのでしょうか。

さて、諸先輩方から災害撲滅のため襷をつないできました「全国安全週間」も今年で88回を迎え、一つの節目である第90回も間近になっています。安全に関わる活動を更に充実させ、会員事業所の皆様におかれましては、安全、安心な職場づくりを心より願うところです。

大東化学(株) 高橋記